

地域おこし協力隊募集要項（令和7年度募集）

令和7年4月 日

1 募集の目的

磐田市地域おこし協力隊員設置要綱（令和5年3月30日告示第96号）に基づき、空き家の所有者と購入希望者のマッチングや市民への啓発活動等を担う地域おこし協力隊を募集します。

なお、今回募集を行う地域おこし協力隊員は、NPO 遠州空き家対策ネットワーク等と一緒に活動し、空き家を中心とした不動産取引のノウハウを身につけるとともに、地域の実情を知ってもらい、「空き家コーディネーター」として複数名が相互に連携して活動するものです。

2 主な活動内容（ミッション）

所有者と購入希望者のマッチング

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 所有者との情報交換 | (2) 購入希望者との情報交換 |
| (3) 取引に関する法令等確認 | (4) マッチングに関する企画 |

市民等への啓発

- | | |
|----------------|-------------------|
| (1) 相談窓口の補助 | (2) セミナーの開催 |
| (3) 自治会等への出張講座 | (4) 市民等への啓発に関する企画 |



マッチングの様子（令和6年12月）

<基本情報>



人 口：167,375 人（R5 現在）
世帯数：70,706 世帯（R5 現在）
空き家数：7,840 戸
空き家率： 10.7%（R5 調査）



ジュビロ磐田、静岡 SSU ポニータのホームタウン、静岡ブルーレヴズのホストエリアとして、複数のスポーツチームが活動の拠点としているまさに「スポーツのまち」でもあります。

<活動環境>

磐田市では、地域おこし協力隊と一緒に取り組むための準備を進めてきました。

令和6年8月に「空き家おこしプロジェクト」を発足し、空き家対策を推進しています。

- 目的 ・ 多くの関係者に空き家の取り組みを知ってもらうこと
・ 一緒に進める共創相手を見つけること
・ 空き家の有効活用を促進させること

また、「NPO 遠州空き家対策ネットワーク※」と協定を締結しているほか、

「空き家おこしプロジェクト」では多くの方の賛同をいただくことができました。

※「NPO 遠州空き家対策ネットワーク」は宅建士、司法書士、税理士、設計士、不動産鑑定士等で構成された法人
このように、多くの関係者に恵まれているほか、地域おこし協力隊1名が既に活動しており、同時期に2名を募集しますので、仲間と一緒に安心してチャレンジすることができます。

プロジェクト発足から12月までの3か月間で約70件の空き家情報を収集することができました。

今後、より空き家の有効活用を進めるためには、所有者と購入希望者などとの架け橋や

所有者の意識の火付け役となる方が必要です。

次世代の不動産コーディネーターとしてのスキルを獲得しながら、ぜひ一緒に取り組みましょう！



3 応募の条件

応募資格 (応募する全ての方が満たす必要があります。)	・現在の居住地の市区町村が、国が定める「特別交付税措置に係る地域要件確認表」の地域要件区分欄の①「3大都市圏内都市地域」、②「3大都市圏内指定都市」、③「3大都市圏外指定都市」等に該当すること ※現在の居住地がどの地域に該当するかは、「特別交付税措置に係る地域要件確認表」をご確認ください。一部条件不利地域にお住いの場合は、住所地により応募の可否が異なります。 ・委嘱後、生活の拠点を磐田市に移すとともに磐田市に住民票を移していただける方 ・令和7年4月1日時点で満18歳以上の方 ・任期終了後も磐田市に居住する意向のある方 ・地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条に規定する欠格事由に該当しない方 ・普通自動車運転免許を有している方、又は委嘱日までに取得する方 ・パソコンの一般的な操作及びSNSの活用ができる方
求める人物像	・地方創生、地方活性化に関心がある方 ・地域住民や不動産事業者等と柔軟なコミュニケーションがとれる方 ・起業や就業を目指し、本市と共に意欲的に取り組む意思がある方 ・不動産関係業務の経験がある方はもちろん、未経験の方も大歓迎 ・心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方

4 募集人員

2名

～活動中の隊員のご紹介～

○氏名 秋山 拓哉（アキヤマ タクヤ）（年齢：26歳）

○前住所 神奈川県平塚市

○応募動機

地方への移住と空き家に関わる仕事をしたいと強く思っており、主に次の2つの理由から磐田市を志望しました。

- ・「募集の目的」や「活動内容」が他の自治体に比べて明確で、応募に対して安心感や期待感がある。
- ・長年住んできた平塚市と似ていて移住後のギャップが大きすぎない。（都市へのアクセス、海・山・川の自然環境、Jリーグチームなど）

○活動内容

空き家の当事者に寄り添い、所有者と購入希望者等とのマッチングを目指すとともに、NPO 遠州空き家対策ネットワークなどのプロフェッショナルにノウハウを学び、空き家に関する意識を啓発するためのセミナーを開催します。

○3年後の展望

宅地建物取引士などの専門的な知識を身につけ、空き家購入者・活用希望者目線でも相談・提案が出来る空き家コーディネーターを目標とし、磐田市の空き家おこしに大きく貢献していきたいです。



5 委嘱形態及び期間

- ・ 空き家コーディネーターを、地域おこし協力隊として、市長が委嘱します。(市との雇用関係無し)
- ・ 副業は、公序良俗に反しない仕事で、地域おこし協力隊の活動に支障をきたさない場合に限り認められます。(市への事前報告が必要です。)
- ・ 委嘱期間は委嘱した日から令和 8 年 3 月 31 日までとします。
- ・ 活動実績により、通算して 3 年を限度として委嘱期間を延長することができるものとします。
- ・ 協力隊員として相応しくないと判断した場合は、委嘱期間中でも解嘱することができるものとします。

6 報償費及び活動費補助

報償費 月額 2 9 1, 0 0 0 円

活動費補助 年間最大 2 0 0 万円 (住宅費、活動車両、燃料費、その他旅費等)

※報償費及び活動費補助金額は、令和 7 年度予算の範囲内となります。

7 勤務条件

勤務地	市役所庁内にデスクは設置しませんので、ご自宅などが活動の拠点となります。市との打合わせは、庁内会議室を使用して行います。また、研修等のため磐田市外で活動することもあります。	
活動日数 活動時間	原則、週 5 日 (1 日 7 時間 45 分) 活動内容に応じて夜間や週末に活動する場合がありますので適宜振り替えます。※末尾の活動スケジュール参照	
待遇・福利厚生	住居	・ 住居はご自身でご契約いただきますが、賃料は活動費補助金として、最大 5 万円/月を補助します。(再掲) ・ 住居に係る光熱水費等は自己負担とします。 ・ 転居に係る旅費や経費については自己負担とします。
	活動経費	・ 活動には自家用車をご利用いただきますが、車両使用料は活動費補助金として最大 3 万 5 千円/月 (燃料費含む) を補助します。(再掲) ・ その他、活動のために必要な消耗品費や出張費については予算の範囲内で補助します。(再掲)
	社会保険	・ 国民健康保険、国民年金への加入は自己負担とします。
	副業	・ 可 (ただし市への事前報告が必要。)(再掲)
	その他	・ 既存住宅を取得して本市に 10 年以上居住する場合は、既存住宅取得等事業費補助金として最大 150 万円を補助することができます。(世帯構成などの要件あり)

8 提出書類・選考の方法

(1) 応募受付期間

令和7年4月18日（金）から令和7年5月14日（水）まで

(2) 提出書類

- ・磐田市地域おこし協力隊応募用紙 : 専用フォームから入力
- ・現住所の住民票の写し : 1ヶ月以内のもの（原本は面接時に提出）
- ・普通自動車運転免許証の写し : 表面・裏面

※ご提供いただいた書類や個人情報は、選考以外の目的で使用しません

(3) 専用フォーム

URL : <https://logoform.jp/form/dWNN/akiyaokoshiakiya>



(4) 選考方法

①	カジュアル面談	・担当者がWEB面談にて質問等をお聴きいたします。 ・地域情報や業務内容についてご説明します。 ・カジュアル面談の目的は応募意思の確認及び業務説明であり、選考には影響しません。
②	応募受付	・カジュアル面談で応募意思を確認し、正式に受け付けます。
③	書類選考	・応募書類をもとに選考します。 ・選考結果はメールでお伝えします。
④	最終面接（現地）	・書類選考合格者を対象に磐田市内にて面接を行います。（令和7年5月19日予定） ・会場等の詳細については、選考結果通知時にお知らせします。 ・面接時には必要書類を持参いただきます。 ※交通費等に関しては自己負担とします。
⑤	最終結果の通知	・選考終了後に、結果を文書で通知します。

9 委嘱時期

令和7年6月1日（市と委嘱候補者との協議のうえ決定）

10 担当課

名 称 磐田市 建設部 建築住宅課 住宅管理グループ
住 所 〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1
電 話 0538-37-4851 F A X 0538-33-2050
電子メール kenchiku-jutaku@city.iwata.lg.jp

<活動イメージ>

4 週間スケジュール（1 年目～2 年目の途中 準備段階時）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
休	市とミーティング	事業者訪問	法令等確認		自治会訪問	休
	市とミーティング		市窓口同席		休	休
	市とミーティング	事業者訪問			休	休
	市とミーティング		市窓口同席 市定期報告	セミナー 企画	休	休

※軌道に乗るまでは、市職員と合同で事業者訪問等を実施する。

※空白となっている日には、所有者や購入希望者との面談を実施し経験を積む。

4 週間スケジュール（2 年目途中～3 年目 本格稼働時）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
休	法令等確認	事業者訪問			自治会訪問	休
休	協力隊員間 情報交換	市情報交換	市窓口同席			休
休		事業者訪問			自治会訪問	休
休			市窓口同席 市定期報告	セミナー 準備	セミナー 開催	休

※基本的に協力隊員が単独または複数名で対応する。

※空白となっている日には、所有者や購入希望者との面談を実施しマッチングを進める。

※自治会の会合等の地域のイベントに合わせて休暇日を変更する。